

西地区近隣校 防災キャンプ



今年度も、地域の皆様と防災に対する危機管理意識を高めるために実施されました。

当会も、昨年度に引き続き、その趣旨に賛同し「西地区近隣校防災キャンプ実行委員会」のメンバーとして参加しました。

「東日本大震災の経験をもとに、防災キャンプを実施することにより、子供たちに防災に対する意義の啓蒙と近隣校及び地域との交流・連携を図る」ことを目的として、平成29年7月15日(土)9時から7月16日(日)9時頃迄実施されました。

児童45名の他、昨年度に引き続き三中生リーダー6名が参加してくれました。

着衣水泳、青森市消防団第7分団長の「消防団の役割、活躍について」の防災講話、消防団の実技指導、夕食準備、レクリエーション、防災クイズ、夜間校内探検、起震車体験のカリキュラムで行いました。

保護者の方々、協力団体及び町内会の方々のご協力により、各種体験学習や昼食の流しそうめん、棒パン、夕食の準備等のお手伝いをして頂きました。

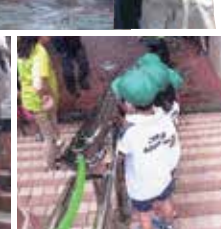
特に、昨年度参加した児童が、今回はリーダーとして、後輩の児童の世話、面倒を見てくれて、1年を得ての中学生としての自覚、成長に目を見張る思いでした。

参加した子どもたちにとってこれまで以上に、防災に対する知識や意識が高まったと思います。

また、地域住民との交流を図り、相互の親睦を深めることにより、地域の団結力、防災力がさらに向上し、今後の災害被害の減少が期待されます。



楽しかった西地区近隣校防災キャンプ



稲元町会

171
世帯10組
企業11社

昨年役員改正により、女性の町会長が誕生しました。
また、長年空席だった各役職も全部決まり、秋には児童民生委員も替わって、組織一新で町会運営がスタートいたしました。

「稲元町会防災会」結成

東日本大震災・熊本大震災… いつ、どんな災害がやってくるのか… 想定以外のことばかり…
「自分たちの町は自分たちで守ろう」と、町会員の消防関係・自衛隊関係、水防関係・道路関係等に勤務している方々を中心に、「町会防災会」を立ち上げました。

備えあれば憂いなし



町会創立45周年記念祝賀会

役員も世代交代となり、長年町会にご尽力された、山谷前町会長・神児童民生委員、盆踊り・環境整備等の活動を担ってきた、老人クラブ「豊寿会」の方々に感謝状を授与いたしました。また、全世帯に、町会名入りのタオルと記念品(お菓子)を配り、相互のコミュニケーションを呼びかけました。



こんな活動をしています



●環境衛生部長+ゴミ問題協力隊

ゴミ袋の町会名記入・分別の確認、推進をしています。

●ドライフラワーレディース

花壇に、綺麗な花を咲かせるため頑張っています。



●雪捨て場借用地の草刈り

冬季間借用している場所を、感謝の意を込め草刈りをしています。

●ラジオ体操

町会には、小学生以下が10人程しか居ないため、老人クラブと一緒に元気に健康づくりをしています。



編集後記

今年度は、新任の事務局長のもと皆様のご協力をいただきながら各事業に取り組んでおります。町会活動の紹介のほか、昨年度に引き続き、当会も実行委員会構成メンバーとして支援している防災キャンプ等をご紹介します。地域の住みよいまちづくりを目指して情報発信している「あんすまいいさんない」に対して、引き続き、ご支援、ご協力いただきますようお願い申し上げます。